

2024/7/10

日本特許出願人抽出時の留意点（▲ ▼で挟まれた出願人名）

アジア特許情報研究会：伊藤徹男

1. はじめに

既報で日本への中国や台湾、韓国からの出願人の特殊な表記について紹介しました¹⁾。出願人名が「▲▼」で挟まれた表記に関するものです。例えば、HUAWEI TECHNOLOGIES の日本出願の出願人表記が簡体字では「华为技术」と表記されますが、その多くは日本語的表記「華為技術」として出願されています。

しかし、一部の出願人名は「▲華▼▲為▼技▲術▼」のように「▲▼」で挟まれた出願人名で表記されています。外国からの出願人表記が「フアウェイ テクノロジーズ / フアウェイ.テクノロジーズ / ホアウェイ テクノロジーズ / ホアウェイ・テクノロジーズ」のように表記ゆれするのはやむを得ないとしても「ホアウェイ テクノロジーズ」の表記があるのに「▲ホア▼▲ウェイ▼技術」の表記もあります。

日本特許庁の「HTML 文書の作成基準」²⁾ および「文字の制限」³⁾ によると「J I S - X 0 2 0 8 - 1 9 9 7 で定められている文字以外の文字を用いようとするときは、J I S - X 0 2 0 8 - 1 9 9 7 で定められている漢字に置き換えて記録するか、又はその読みを平仮名で記録し、その前に「▲」、後ろに「▼」を付します。」とあります。

そこで本稿では、「▲ ▼」で挟まれた特殊な出願人表記について議論したいと思います。

2. 「▲ ▼」で挟まれた出願人表記

HUAWEI TECHNOLOGIES を含め「▲ ▼」で挟まれた出願人表記のうち比較的出願が多い出願人についてその出現数と共に表 1-1、表 1-2 に抽出しました。「▲ ▼」で挟まれた表記と共に簡体字を日本語的表記に変換した出願人名並びに参考情報としてカタカナ異表記の出現数も紹介しています。いずれもデータは台湾特許庁の Worldwide な国を収録する GPSS で抽出した 2000 年～2023 年の公開特許数で示しています。但し、既報で紹介しましたように GPSS の日本特許収録は J-PlatPat に比べ若干劣ることは了解ください。

尚、Worldwide な無料特許データベースとして WIPO PATENTSCOPE (PS と略記) もあります。商用データベースを利用できない方も多いと思うので日本特許の検索例として GPSS 同様、その存在数を表 2 に比較してみました。

表 1-1. ▲ ▼で挟まれた出願人表記例

HUAWEI TECHNOLOGIES	BAIDU NETCOM	BOE TECHNOLOGY
▲華▼▲為▼技▲術▼	1 百度网▲訊▼科技	26 京▲東▼方科技
華為技術	5305 百度网訊科技	124 京東方科技
▲ホア▼▲ウェイ▼技術	701 バイドウ ネットコム	1206 京▲東▼方技▲術▼
ホアウェイ技術	0 バイドウドットコム	67 京東方技術
▲ほあ▼▲うえい▼技▲しゅ▼	4 バイドウ.コム	2 京▲東▼科技
ほあうえい技術	0 BAIDU ONLINE NETWORK	20 京東科技
▲ホア▼▲ウェイ▼技术	5 百度在▲綫▼网▲絡▼技▲術▼	6 ピーオーイー テクノロジー
華為技术	0 百度在線網絡技術	46 BOE DISPLAY
ホアウェイ テクノロジーズ	1751 バイドウ オンライン ネットワーク	47 京▲東▼方▲顯▼示
ファウェイ テクノロジーズ	17 ZTE	0 京東方顯示
HUAWEI DEVICE	中▲興▼通▲訊▼	7 ピーオーイー ディスプレイ
▲華▼▲為▼▲終▼端	284 中興通訊	836 BOE OPTOELECTRONICS
▲華▼▲為▼終端	151 ゼットティーイー	1203 京▲東▼方光▲電▼科技
華為終端	16 ゼッド ティー イー	5 京東方光電科技
ホアウェイ デバイス	15 ゼットティーイー	285 京▲東▼方光科技
ファウェイ デバイス	0 ジーティーイー	3 京▲東▼方光科技
		0 京東方光科技

表 1-2. ▲ ▼で挟まれた出願人表記例

MOBILE COMMUNICATIONS	TENCENT TECHNOLOGY
大唐移▲動▼通信	177 ▲騰▼▲訊▼科技
大唐移動通信	50 諸訊科技
中国移▲動▼通信	75 テンセント テクノロジー
中国移動通信	99 HAIER
BYTEDANCE	海▲尔▼
字▲節▼跳▲動▼科技	4 海尔
字節跳動科技	0 ▲海▼▲爾▼
字▲節▼跳▲動▼網絡	0 海爾
字節跳動網絡	509 ハイアール
字跳▲網▼絡技▲術▼	44 BIOPHARMACEUTICAL
字跳網絡技術	0 生物医▲藥▼科技
バイダンス	112 生物医藥科技
MIDEA ELECTRICAL HEATING APPLIANCES	SHANGHAI INSTITUTE OF MATERIA MEDICA
美的▲電▼▲熱▼▲電▼器	115 上▲海▼▲藥▼物研究所
美的電熱器	5 上海藥物研究所
	69

表 2. GPSS と PATENTSCOPE(PS)収録比較

HUAWEI TECHNOLOGIES	GPSS	PS	BAIDU NETCOM	GPSS	PS
▲華▼▲為▼技▲術▼	1	5328	百度网▲訊▼科技	26	17
華為技術	5305	5328	百度网訊科技	124	17
▲ホア▼▲ウェイ▼技術	701	718	バイドウ ネットコム	1206	1195
ホアウェイ技術	0	1	バイドウドットコム	67	48
▲ほあ▼▲うえい▼技▲しゅ▼	4	4	バイドウ.コム	2	3
ほあうえい技術	0	0	BAIDU ONLINE NETWORK		
▲ホア▼▲ウェイ▼技术	5	0	百度在▲綫▼网▲絡▼技▲術▼	7	6
華為技术	0	0	百度在線網絡技術	46	25
ホアウェイ テクノロジーズ	1751	1790	バイドウ オンライン ネットワーク	682	635
ファウェイ テクノロジーズ	17	15	ZTE		
HUAWEI DEVICE			中▲興▼通▲訊▼	249	1188
▲華▼▲為▼▲終▼端	284	542	中興通訊	836	1188
▲華▼▲為▼終端	151	542	ゼットティーイー	1203	1098
華為終端	16	542	ゼッド ティー イー	7	7
ホアウェイ デバイス	15	0	ゼットティーイー	8	8
ファウェイ デバイス	0	0	ジーティーイー	5	5

表1で明らかなように▲ ▼で挟まれた出願人表記は多くの中国、台湾からの出願人について確認できることがわかりました（表1はすべて中国出願人）。しかももいざれも▲ ▼が付与されていない日本語的表記（漢字）が存在するにも拘わらず両方の表記が存在するのは何故か。「▲華▼▲為▼▲終▼端」「▲華▼▲為▼終端」「華為終端」の存在などはまさに意味不明です。「華為終端」も存在しますから「華」「為」が「J I S - X 0 2 0 8 - 1 9 9 7 で定められている文字以外の文字」でだから、とも言えないような気もします。現状では▲ ▼で挟まれた出願人表記も異表記の1つとして検索式に組み入れるしかないようです。（表1-1中の「▲ホア▼▲ウェイ▼技術」の「技術」は簡体字「技术」の日本語的表記の漢字ですし、「百度网訊科技」の「网訊」は簡体字のままで）

他方、表2から、PSでは「▲華▼▲為▼▲終▼端」「▲華▼▲為▼終端」「華為終端」など▲ ▼の有無を区別して検索することはできないようです。

また、「百度在▲綫▼网▲絡▼技▲術▼」のPS検索では6件の内、2件は「BAIDU ONLINE NETWORK TECHNOLOGY」と出願人名、要約とも英表記であり、「百度在線網絡技術」も25件の内、21件が「BAIDU ONLINE NETWORK TECH」と英訳されたもので原語表記を確認できません。

さらにPSでは「京▲東▼方▲顯▼示」の出願人表記が共願人の筆頭出願人である「京東方科技集團」（親会社）となって詳細を表示しないと「京▲東▼方▲顯▼示」の表記が確認できません。（GPSSでは検索結果一覧で共願人すべての表記を確認可能です）

3. 大学、研究機関における▲ ▼

数こそ少ないが大学や研究機関にも▲ ▼で挟まれた出願人表記が存在します。

表3. 大学、研究機関における▲ ▼

清▲華▼大学	21	▲藥▼物研究所	14
清華大学	314	藥物研究所	116
▲復▼旦大学	22	▲やく▼物研究所	1
復旦大学	9	やく物研究所	0
同▲濟▼大学	11	▲藥▼物研究院	4
同濟大学	6	藥物研究院	3
浙江工▲業▼大学	14	医药工▲業▼研究院	5
浙江工业大学	1	医药工业研究院	25
哈▲尔▼▲濱▼工▲業▼大学	4	半▲導▼体研究所	2
哈尔滨工业大学	5	半導体研究所	3
▲華▼▲東▼理工大学	14	光▲電▼研究院	3
華東理工大学	4	光電研究院	4
▲電▼子科技大学	7	林▲業▼科学研究院	8
電子科技大学	3	林業科学研究院	2
▲広▼州大学	64	▲熱▼▲帶▼▲農▼▲業▼科学	2
広州大学	24	熱帶農業科学院	2

4. 出願人表記中の地名における▲ ▼

GPSS の出願人表記には、「▲騰▼▲訊▼科技(深▲セン▼)有限公司; TENCENT TECHNOLOGY (SHENZHEN) COMPANY LIMITED」や「深▲セン▼▲時▼▲識▼科技有限公司」のように地名としての「深圳(SHENZHEN)」が「深▲セン▼」として▲ ▼で挟まれた出願人表記が存在します。この場合には深圳の「圳」に該当する日本語的表記の漢字が存在しないために「深▲セン▼」と表記されているものと思います。

しかし、ここでも表4のように、ここまで揺れなくても、というぐらいの深圳の日本語が存在します。ここでは「深セン」など▲ ▼で挟まれていない出願人表記は例外のようです。

表4. 出願人の所属地名「深圳(SHENZHEN)」の異表記

深▲セン▼	2252	深▲ヂエン▼	3
深▲セ▼▲ン▼	5	深ヂエン	0
深セン	109	深▲シン▼	5
深▲せん▼	1472	深シン	0
深せん	1	深▲しん▼	14
深▲ちえん▼	26	深しん	0
深ちえん	0	深▲川▼	14
深▲チェン▼	69	深川	4
深チエン	0	深▲つん▼	3
深▲ゼン▼	62	深つん	0
深ゼン	0	深▲ふん▼	1
深▲ジエン▼	6	深ふん	0
深ジエン	0	深▲じゅん▼	1
深▲じえん▼	4	深じゅん	0
深じえん	0	シェンジエン	764

末尾の「シェンジエン」は▲ ▼で挟まれてはいませんが、「テンセント・テクノロジー・(シェンジエン)」として使われています。

その他の地名も「▲無▼▲錫▼小天鵝電器有限公司; WUXI LITTLE SWAN ELECTRIC CO.,LTD」のように出願人名の一部として使われています(表5)。

「无锡」については、簡体字のように見える「无锡」(錫は日本語的表記の漢字)と「無錫」が「无锡」(簡体字)「无锡」「無錫」いずれで検索しても「无锡」「無錫」として併せて抽出されます。それぞれの存在数は表5に示した通りです(139件の検索結果を目視で確認しカウントしました)。

もちろん、▲ ▼で挟まれた「▲無▼▲錫▼」「無▲錫▼」も別途存在します。

表5. その他の地名異表記

上▲海▼	227	重▲慶▼	34
上海	2289	重慶	113
青▲島▼	206	大▲連▼	119
青島	1165	大連	191
▲蘇▼州	186	▲遼▼▲寧▼	7
蘇州	545	遼寧	9
江▲蘇▼	269	▲寧▼波	114
江蘇	434	寧波	304
武▲漢▼	21	▲廣▼州▲	37
武漢	317	廣州	698
廈▲門▼	85		
廈門	323		
山▲東▼	53	▲無▼▲錫▼	44
山東	382	無▲錫▼	0
▲廣▼▲東▼	84	无▲錫▼ 簡体	7
廣▲東▼	2	無錫 *1	93
廣東	2273	无錫 *2	46

5. 法人格(股份)の異表記

法人格まで付けて検索することはまれですが、子会社や関連会社とは区別して親会社だけを抽出する場合には法人格を付けて検索することもあります。

表6. 法人格(股份)の異表記

股▲ふん▼	21271	股▲ヒン▼	12
股▼ふん▲	252	股▼ヒン▲	10
股▲ふん▲	1	股▲ひん▼	72
股▼ふん▼	1	股▲フェン▼	97
▼股▼▲ふん▼	1	股▲ふえん▼	194
股▲分▼	7130	股▲ふうん▼	6
股▼分▲	79	股▲フウン▼	10
▲股▼▲分▼	2	股▲わん▼	1
股▲フン▼	1977	股▲扮▼	5
股▼フン▲	1	股▲はん▼	5
股▲ぶん▼	40	股▼組▲	1
股▲ぶん▲	2		
股▼ぶん▲	1		
股▲ブン▼	1		

共願例

- ・京東方科技集團股▲ふん▼有限公司; BOE TECHNOLOGY GROUP CO.,LTD.;
- ・北京京▲東▼方▲顯▼示技▲術▼有限公司; BEIJING BOE DISPLAY TECHNOLOGY CO.,LTD.

法人格「股份」は「CO., LTD」「CORPORATION(CORP)」などとして
「股份有限公司 / 股份公司 / 股份有限責任公司 / 股份两合公司 / 股份有限兩合公
司 / 股份有限及两合公司 / 股份有限兩合公司 / 股份合作公司 / 股份制公司 / 股份经
济合作社 / 股份及两合公司 / 股份公开有限公司 / (股份) 责任有限公司」
のように使われますが、「份」の簡体字を表す日本語的漢字がないので▲ ▼で挟んだ表
6のような揺れが存在します。

表中の赤字部分は、日本特許庁の以下の指針から外れた表記をマークしたものです。

- 1)▼ふん▲・・前が▼、後ろが▲
- 2)▼ふん▼・・前も後ろも▼
- 3)▼フン▲・・平仮名ではなくカタカナに

「J I S - X 0 2 0 8 - 1 9 9 7 で定められている文字以外の文字を用いようとする
ときは、J I S - X 0 2 0 8 - 1 9 9 7 で定められている漢字に置き換えて記録するか、
又はその読みを平仮名で記録し、その前に「▲」、後ろに「▼」を付します。」

6. あとがき

「そんなどうでもいいことをよくやるわ。よっぽど暇なんだ。」「こんなことを紹介す
る意味があるのか」と呆れかえる声が聞こえてきそうですが、日本特許調査をほとんど
したことのなかった私にとっては▲ ▼で挟まれた出願人表記（日本から出願された發
明者にも存在）は新鮮でした。

古くから日本特許庁の指針が存在することから、このような問題（指摘）は既に過去
に議論されつくされたことなのかもしれません。私だけが知らずにこのような紹介をす
ることは「徒労に終わる」ことかもしれません。

今回、「外国から日本への出願」を整理する中で発見した「▲ ▼で挟まれた出願人表
記」についてデータを挙げて紹介させていただきました。

7. 参考文献：

- 1)東アジア各国への外国出願人の出願動向（その1. 日本への出願）
https://patentssearch.punyu.jp/asia/Foreign_PA1.pdf
- 2)HTML 文書の作成基準(JPO)
https://www.jpo.go.jp/system/process/shutugan/pcinfo/make/document/doc_rules/100121339.pdf
- 3)文字の制限(JPO)
<https://www.pcinfo.jpo.go.jp/guide/Content/Rules/MojiSeigen.htm>

以上